

「にいがたふうど」記事作成業務 質問回答表

No.	質問	回答
1	「内容のイメージ」とありますが、具体的にどういったものを想定されていますか。 (実施要領 3 頁_8 提案書の提出_(2)提案書の作成_②記事作成業務)	ダミー記事のような、インタビューを通して何を伝えたいか、どう訴求するのかというイメージがわかるものを想定しています。ただし、ダミー記事の作成が必須というわけではありません。各提案者の判断で、より全体イメージを伝えられるようなものがあれば、提案書にて示してください。
2	第 1 回目の取材対象が指定となりますが、どのような内容の記事を具体的に想定されていますでしょうか。記事の方向性も各事業者の提案ということでしょうか。 (仕様書 1 頁_4 業務内容_(1)記事の作成_イ)	第 1 回目の記事の方向性としては、新潟の地形と歴史が生み出した豊かな食文化、交易による食材の多様性、それが織りなす新潟の食について、指定した対象へ取材を行い、昨年度制作した「にいがたふうど」リーフレットの総括となるようなインタビュー記事を想定しています。内容の詳細は提案とします。
3	指定されている第 1 回目の取材対象者への謝礼金額を教えてくださいませんか。 (仕様書 1 頁_4 業務内容_(1)記事の作成_イ)	各取材先への謝礼は、提案者の判断に委ね、必要に応じて委託費に含めることとしていますが、参考金額としては、「新潟市財務規則運用要綱」別表（第 8 条関係）謝礼基準を参照ください。
4	作成した記事を掲載するnoteは、すでに運用中のものがあるのでしょうか。または新規での立ち上げになりますでしょうか。運用中があれば、情報をいただけませんか。 (仕様書 2 頁_4 業務内容_(1)記事の作成_サ)	今後、新規での立ち上げ予定であり、現時点では運用中のものはありません。
5	ターゲットが 30～40 代の理由を教えてくださいませんか。 (仕様書 2 頁_4 業務内容_(1)記事の作成_ソ)	30～40 歳代は食文化を次世代に受け継いでいく世代（子育て世代）ですが、第 51 回（令和 6 年度）市政世論調査の結果によると、「食文化を継承している」割合が最も低い世代となっています。また、自身で食材を選択する機会が多いとも想定されますが、「身近な場所でとれたものを選ぶ」割合も低い傾向があることから、本事業としては極端にターゲットをしぼるものではありませんが、30～40 歳代を想定ターゲットとして、効果的に訴求できるような企画提案を求めています。